

## 健康増進で産業振興 弘前市が戦略策定

弘前市は28日、医療や健康などライフ分野での産業振興を目指す基本戦略「ひろさきライフ・イノベーション戦略」を策定した。「寝たきり」「ゼロ」の社会の実現を目指し、2017年度から5カ年で、市民の健康増進やビジネスモデルの構築を図る。

同日、市のひろさき未来戦略研究センターが大学や企業、金融機関などで構成する有識者会議を開き、戦略を決定した。

市の戦略は県や文部科学省などによる研究プロジェクト弘大COI(センター・オブ・イノベーション)などと連動。健康増進や研究開発の促進、弘大との連

携強化、民間事業者の参入促進を基本方針とし、弘大のロボットスーツ医療用HAL導入や再生医療の推進、健診結果に応じて健康教育を行う「啓発型健診」の定着などを盛り込んだ。

戦略の初年度となる17年度は、市役所内に専門部署を創設し、当初予算に関連事業として約5600万円を計上。弘大医学生の海外

研修支援、事業者が減税などの支援が受けられる経済産業省の「地域経済牽引事業計画」の申請などを予定している。

戦略では進捗状況に応じて随時、数値目標を設定する。山本昇副市長は「戦略を策定するだけでなく、取り組みを加速して具体的に事業を進めていきたい」などと語った。(鎌田秀人)